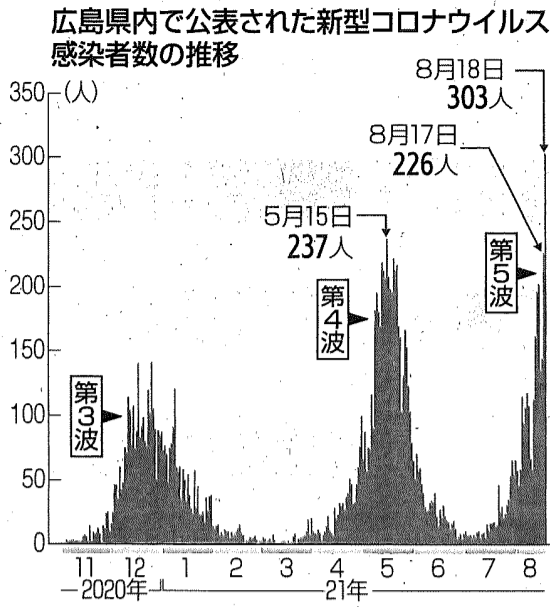


広島・岡山感染300人超

「第5波」深刻 山口も最多105人

新型コロナウイルスの流行の「第5波」で全国の都道府県で過去最多の感染確認が相次ぐ中、中国地方5県では18日、広島、山口、岡山の3県で最多を更新した。広島は303人、岡山は307人で、ともに初めて300人を超えた。山口は105人で初の100人を超えた。各県はさらに感染状況が悪化する恐れがあるとして、県外との行き来の自粛や感染防止策の徹底を強く訴えている。26面に「関連記事」。

(宮野史康、渡辺裕明、中島大)



広島県と岡山県には20日「正特別措置法に基づき、まん延防止等重点措置が適用」から、新型コロナウイルス対応の改

倉敷市を対象区域に設定。対象区域の飲食店に終日、酒を提供しないよう要請するなど、行動制限を伴う感染防止策を強める。

広島県ではこれまで最多だった5月15日の237人を大幅に上回った。県は7月31日に独自の集中対策を始め、全県民の外出半減などを要請してきたが、各市町で感染者が増えている。県は「お盆の県外からの人の流入を踏まえると、今

コロナ治療薬最大200万人分

塩野義、年内に供給体制整備

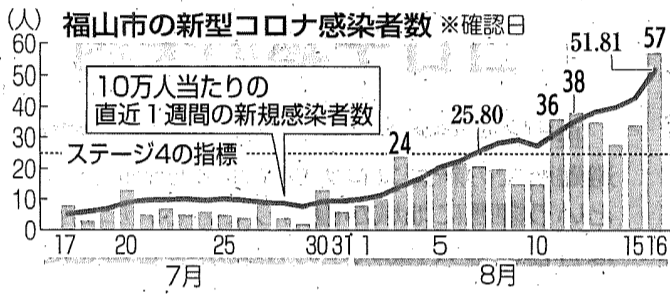
塩野義製薬は開発中の新型コロナウイルス治療薬について、2021年中に国内で100万〜200万人分の供給体制を整える方針を明らかにした。第3段階の治験データを提出する前に使用を認める「条件付き早期承認」を年内に申請することも検討し、早期の実用化に向けて準備を急ぐ。

塩野義が開発する治療薬は軽症から中等症の患者を対象にした飲み薬で、ウイルスを増殖させる酵素の働きを阻害し、重症化を抑制する仕組みだ。感染初期に1日1回、5日間続けて服用する使い方を想定している。軽症者が自宅で作る飲み薬が完成すれば、重症者を減らすことができると

7月に国内の医療機関で始めた初期段階の治験は、20〜55歳の健康な男性75人を対象に実施。海外展開も視野に入れ、米国の保健福祉省と協議を始めた。

R3. 8. 20

花園保育園



16日最多の57人確認

福山市で新型コロナウイルスの感染が猛威を振るっている。県の集中対策の「重点区域」となった6日以降も感染拡大が止まらず、16日に市が確認した新規感染者は57人で過去最多となった。市内の軽症者向けの宿泊療養施設は既に埋まり、市内での受け入れが困難となっている。感染拡大をいかに抑え込むか正念場を迎えている。

(門戸隆彦)

福山感染拡大止まらず

コロナ軽症者向け施設満杯

立つ。感染力の強い変異株への置き換えが進んでいることも感染が急拡大する背景にあるとみる。

枝広直幹市長はこの日、緊急の記者会見を開き、「深刻な局面に入った。お盆の影響が出るのはこれからで、予断を許さない」と強調。感染経路が不明な割合が増えているとし、追跡調査による封じ込めが困難との見方を示した。「外出の機会を減らし、マスク着用などの対策もしっかり取ってほしい」とも訴えた。

市内では入院病床に空きがある一方、宿泊療養施設(168室)が既に埋まり、感染者が市外の施設で療養するケースも出ている。市は宿泊療養施設を増やす考えだが、感染者の健康管理に当たる看護師の確保が課題となっている。

行き来の自粛や外出の半減といった対策を徹底してほしい」と力説している。

山口県の村岡嗣政知事は緊急の記者会見で「全国の人の移動を抑えるのが重要。政府は強いメッセージを出してほしい」と訴え、緊急事態宣言の対象を全国に広げる必要性を強調した。県への重点措置の適用要請については、現時点では否定した。

3県では、18日までの1週間の新規感染者数(人口

10万人当たり)が、広島48・6人▽山口33・3人▽岡山72・2人となった。いずれも、感染状況が最も深刻な「ステージ4」(爆発的感染拡大)の指標(25人)を上回っている。

第5波では、感染力が強いインド由来のデルタ株が猛威を振るい、深刻さが刻々と増している。中国地方のほかの2県の18日の確認数は、島根が31人、鳥取が22人。5県の合計は過去最多の768人に達した。

市によると、夏休みで帰省も増える中、家庭内で感染が広がるケースなどが目

広島県2万2500人接種へ

31日から福山 来月3日から中区

新型コロナウイルスのワクチン接種で、広島県は12歳以上の県民を対象にした大規模会場を県内2カ所に設ける。期間は広島市中区の日満屋八丁堀ビル6階が9月3日〜10月19日、福山市のビッグ・ローズが8月31日〜10月25日、米モデルナ製の計2万2500人に打つ。予約はインターネットで8月21日午前9時から、電話で24日午前8時から、それぞれ受け付ける。日満屋八丁堀ビル6階は1万3750人(1日当た



り450〜1440人の利用を見込む。1回目の接種は9月3〜20日となる。ビッグ・ローズは8750人(300〜1440人)を受け入れる。1回目は8月31日〜9月6日と9月14〜20日に設定した。4週間の間隔を空けて打つ2回目は、1回目の接種日に各会場予約する。県は大規模会場4カ所を7月中旬から運営し、計11万人に接種するとして、2021年度一般会計補正予算で3億3600万円を確保した。ただ、政府がワクチン不足で自治体からの申請受け付けを一時停止し、実施できていなかった。今回、県独自に厚生労働省と交渉し、ワクチンを確保したとしている。

予約サイトは24時間対応で、アドレスは<https://jumptmso.jp/hiroshima/>、電話予約は082(5609)5288(午前8時〜午後8時)。(宮野史康)

コロナ飲み薬 年内にも申請

厚生省に塩野義

塩野義製薬が開発中の新型コロナウイルス治療薬について、年内にも厚生労働省への条件付き早期承認の申請を目指していることが6日、分かった。飲み薬タイプで、自宅でも服用できることを想定しており、軽症や中等症患者の重症化を防ぐ効果が見込まれる。実用化の時期は未定としている。

塩野義は7月に新型コロナウイルス治療薬の臨床試験(治験)を開始。ウイルスの増殖を抑制することで病状の悪化を防ぐ。国内で軽症者向け

政府は18日、少なくとも新型コロナウイルスワクチンを1回接種した人が、日本の人口の半数を超えたとする集計結果を公表しました。またワクチンの2回接種を終えた人は、19日までに5,000万人を超え、日本の接種率はおよそ4割に達したとしています。(こ

8月園だより コロナ感染症特集